



JORNAL NIKKEY SHIMBUN

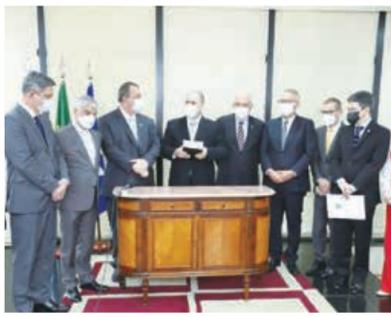
DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL Aldo Shiguti, MTB 36.982
Rua da Glória, 332 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeishimbun.jp

上院はお蔵入り阻止に動く

長官側近は起訴に前向き

上院のコロナ禍議会調査委員会(CPI)が26日に承認した、78人と2企業を起訴する内容をめぐり最終報告書は、27日に連邦検察長官に手渡された。最終的に起訴を行うか否かの判断はアウグスト・アラス長官にかかっているため、これまでボルソナロ大統領に寛容だった同長官に対する憶測や上院での駆け引きなどの情報が飛び交っている。27、28日付伯字紙、サイトが報じている。

コロナ禍 CPI アラス長官めぐり駆け引き



27日の起訴請求の提出 (Antonio Augusto/Secom/MPF)

最高裁は厳しい見解も

CPIからの起訴請求を含む報告書が検察長官に届けられた際、アラス長官は半年間にわたるCPIの活動を賞賛。州や市レベルでの告発を含むいくつかの捜査は既に済んでいると述べ、不逮捕特権などを持つ当局関係者などへの告発の詳細が届いたことで、捜査がさらに進むよう、努力することを述べた。アラス長官は2019年8月の就任以来、一貫して、自身を長官職に指名したボルソナロ大統領に甘い判断を行ってきただけに、今回も大統領に対して行った九つの起訴請求がお蔵入りにされるのが予想されている。だが、こうした状況が変化し、報告書提出の場に参加したシモン・テベテ上院議員は、アラス長官の言葉に「手応えを感じた」との言葉を表現した。同上議はCPIの委員ではないが、審議にも頻りに参加し、召喚者に鋭い質問を浴びせるなどして、「G7」と呼ばれるCPIの多数派上議やその審議に貢献した人物だ。報告書提出の場にはG7の委員たちも同席した。一部のの上議たちは同日、報告書の写しを最高裁のアレッシャンドレ・デ・モラエス判事に持参した。同判事は最高裁での「デジタル・ミリアシア(ネット犯罪者)」の捜査担当だ。

Anvisaが大統領発言否定

「接種による病気誘発はない」

ボルソナロ大統領が恒例ライブで「新型コロナウイルスのワクチン接種者はエイズ罹患の可能性が高い」との報告がある」と語り、虚報拡散と批判された件で、国家衛生監督庁(Anvisa)が27日、「接種による病気誘発はない」と明言したと同日付伯字紙が報じた。

不安をかきたてた発言には医学界も猛反発し、国民を守るべき当局が国民を危険にさらす虚報を何百も拡散と批判した。上院のコロナ禍議会調査委員会(CPI)が最終報告書で大統領の虚報拡散の責任を問う決断を下した事は周知の事実だが、最高裁も既に検察長官に捜査を命じている。大統領は以前も、伯国

で使用中の新型コロナウイルスは試験中で安全性の保証がないとし、医薬品の安全性を調べ、使用許可を出すAnvisaからの反論を受けた。今回のAnvisaの反論はアントニオ・パラ・トレス理事長が行った。同理事長は理事会の冒頭で「どのワクチンも他の病気に罹りやすくする事はなく」と明言すると共に、新型コロナウイルスの感染者や死者の減少は予防接種が進んだ結果とし、「国家予防接種計画」への参加も促した。

また、ワクチン以外の原因で死亡した治験者や安全性検証は過去の研究や相当数の治験に基づいて行われている。だが、ワクチンも感染を完全に防ぐ事はできないし、体質などによって受けられない人もいる。だが、聖州セラナ市での集団接種による予防接種効果の高さ、接種率が約3割のロシアでは死者や感染者が新記録を



Anvisaが大統領発言を否定したと報じる27日付G1サイトの記事の一部



Anvisaが大統領発言を否定したと報じる27日付G1サイトの記事の一部

本記事は、日本政府支援事業に基づき、サンパウロ日伯支援協会が実施している「コロナ感染防止キャンペーン」の一環です。



中央銀行 (Marcello Casal/Agencia Brasil)

Selic 1.5%増の7.75%に 過去19年間で最大の上昇率

中央銀行通貨政策委員会(Copom)は27日、経済基本金利(Selic)を6.25%から7.75%へ、1.5%ポイント(P)引き上げた。更新中でロックダウン適用などといった例を見るための予防接種促進は不可欠といえそう。聖市の格差地図では、接種年齢に達する前に仕事や求職のために出かける必要に駆られた若者が感染し、死亡したと思われる地区も出ています。

他国の傾向とは完全に逆行

温室効果ガス 20年は06年以來の排出量 温室効果ガス 2003年まで温室効果ガスの排出が増え続けてきた。2004年から2010年にかけては大幅な削減が行われたが、それ以降はまた排出量が増え続けており、2019、2020年にはさらに急増した。これにより、20年の排出量は2006年以降、最大となったという。世界全体で見ると、20年は前年比で7%の温室効果ガスの排出削減が行われたが、伯国は9.5%増えた。また、2010年比では排出量が23.2%増えている。

東西南北

また、セアラ州でのフォルタレザ対アトレチコ・ミネイロは、2-1でガロ(ミネイロ)が勝利。ガロも、合計スコアで6-1と圧倒しての進出となる。決勝戦の日程は未定だが、フラカンが勝てば2年ぶり、ガロが勝てば7年ぶり2度目の優勝へのリベルタドレス杯への進出権を獲得する。全国選手権での実績でいえば、

IGP-M 10月は0.64%上昇 12カ月では21.73%

ジェット・ヴァルガス財団(FGV)が28日、10月の総合市場物価指数(IGP-M)は0.64%のデフレだったが、10月はインフレ率(IGP-I)は0.64%に上昇し、12カ月の累積では21.73%の累積上昇となったと発表した。同日付伯字紙が報じた。IGP-Mは卸売物価指数(IPA)6割、消費者物価指数(IPCC)3割、全国建設コスト指数(INCC)1割で構成されており、家賃の調整が抑えられたことが、10月のIGP-Mを押し上げたのはIPAで0.53%上昇した。9月のIPAは1.21%に引き上げられた。その後は少しずつ下がりが始まり、9月には

Table with exchange rates for various currencies: 米ドル相場, 売, 5.624 R\$, 買, 5.623 R\$, 円相場, 売, 0.0478 R\$, 買, 0.0478 R\$

Sakura 80 anos Shoyu Sakura Kin advertisement with product image and QR code

聖市 死亡時の平均年齢に22年の差! 地区別の貧富の格差を反映

聖市の格差に関する「格差地図」が公表され、裕福な地区と貧困者が多い極東部との差が大きい。平均年齢が80歳以上だったが、郊外のアンニャングエラやパレリエイロは64.5歳だった。

聖市の格差に関する「格差地図」が公表され、裕福な地区と貧困者が多い極東部との差が大きい。平均年齢が80歳以上だったが、郊外のアンニャングエラやパレリエイロは64.5歳だった。

南米の麻薬密売中心地が移動。パラグアイからボリビアへ

【既報関連】南米大陸の中心に位置するボリビアは、伯国の麻薬密売組織の一つで聖市を本拠とするコロンビア第一コマンド(DCC)が進出し、麻薬カルテル「ナルコス」の一大拠点になった。ただ、現在の拠点はボリビアで、マルコスの仲間であるナルコス幹部のジヘルト・アラベロ、ドス・サントス(通称フミニーニ)はボリビアに拠点を移している。

ケアする機関や女性警察もあり、被害実態が把握しにくい事も影響している。女性への暴力事件は、殺人や傷害、虐待などの身体的なもの、脅迫などの心理的もの、誹謗中傷、名誉毀損などの道徳的なもの、性的なものなどが含まれる。

96地区の教育、保健衛生、住居、移動の各種サービスを指し、最も低い10地区は7区は郊外にある。パレリエイロ、ジャルジン・アンジェラ、ブラジリア、マルシラック、ラジェアドだ。高評価地区は中心部セントロや南部に集中しており、モエマ、レプブリカ、ヴィラ・マリア、イタイン・ピビ、ジャルジン・パリス、ピニエロス、サントアマロなど。郊外は皆無だった。(26日付掲載)

動物の生き様などをレンズを通して記録し、伝える事ができるのはかけがえのない特権なのだから、パンタナルに足を踏み入れると目に飛び込む全てが焼き尽くされた平原や、120カ所を回っても3、4カ所しか水がなく、フニが文字通り一緒に群がっている。通常とは異なる光景にショックを受けたと語っている。

同氏によると、宿泊所で出会ったボランティア達も、最も干ばつが厳しい地域の湖にタンク車まで運んできた水を入れて動物達を助けている事や、これ以上生き延びる術はない地域に残っていたワニ達を他地域に移してやった事などを話してくれたという。

マルセロ氏は、パンタナルの干ばつは犯罪的な森林火災でより深刻化しているとも語る。ボ

女性への暴力発生率最高は71.7%、75.5%の5974件がそれに続く。最少はヴィラ・フォルモザの49.4件でセーラの15分の1だが、専門家は、中央部は仕事が多い事で被害者数が多し、被害者の女性が多いと指摘している。

市全体の死亡時の平均年齢は68.2歳、ピニエロスの住民は市の平均と比べても12.7年長生きしているが、チラデントスの住民は市の平均と比べても約10年早く死亡している。

サンビークで捕まった。2018年に伯国国内で起きたPCCリーダーのロジェリオ・ジェレミアス・シモネ(通称「シヤックス作戦」)で名前が挙げられたリーダー達も、ボリビアに住み、活動している。その一人はナルコスルの輸送担当者で、コカイリヤと東洋への新たな麻薬販路を開拓するために2018年にアフリカに渡り、彼は約20年間の逃亡生活の末、2020年に米国の麻薬取締局(DEA)の協力を得た警察官により、モ

セラーナ市での集団接種 99%が3カ月後も抗体保持

聖州内陸部セラーナ市で行われた新型コロナウイルスの集団接種「S計画」の追跡調査の結果、2度目の接種終了から3カ月後も99%の人が抗体を保持しており、予防接種効果が継続している事が確認された。15日付G1サイトや21日付アジェンシア・ブラジルが報じた。

S計画の第1ステップは2月から4月にかけて行われ、セラーナ市に住む18歳以上の人口(妊婦や出産直後の人、基礎疾患のある人などは除く)の調査への協力を申

カーザ・ダス・ローザスの改修開始 420万レアル投じて18日から

聖市パリス大通りと、当時の建築様式を色濃く残す建物の管理者は、聖州創造的な文化と経済局だ。詩作や翻訳で知られる聖市生まれの文芸評論家であるホルド・デ・カポス(1929〜2003)に敬意を表し、「アールド・デ・カポスの詩と文学の空間」と呼ばれるためのプロジェクトに聖州政府が拠出する。カポスの所蔵物は、同館の管理を担う社会組織のPoissisの本部に移す。同館の所蔵物には、アールド・デ・カポスの作品集などの書籍コレクションが含まれている。カポスの作品の研究等は、事前予約さえあれば改修中も公開が可能だ。

先住民保護区の金鉱夫ら摘発 ハラー州などで作戦を敢行

連邦警察が27日、伯国北部パラ州の先住民保護区内で金を採掘する不法な形を摘発している。犯罪組織を摘発・解体する「テラ・デ・ソラタ」作戦を敢行した同日付アジェンシア・ブラジルが報じた。

金の不法採掘が行われているのはパラ州南部

先住民保護区の金鉱夫ら摘発 ハラー州などで作戦を敢行

連邦警察が27日、伯国北部パラ州の先住民保護区内で金を採掘する不法な形を摘発している。犯罪組織を摘発・解体する「テラ・デ・ソラタ」作戦を敢行した同日付アジェンシア・ブラジルが報じた。

金の不法採掘が行われているのはパラ州南部

レベッカが世界体操でも快挙 五輪に続く金、銀の2メダル

北九州市で開催された世界体操で、レベッカ・アンドラーデが、伯人女子体操選手で初の1大会2メダルを達成した。レベッカは東京五輪でも個人総合で銀をとった。今回は初の個人でのメダル獲得を達成。その後、跳馬で金を獲得し、1大会2メダルを達成した。

先住民保護区の金鉱夫ら摘発 ハラー州などで作戦を敢行

連邦警察が27日、伯国北部パラ州の先住民保護区内で金を採掘する不法な形を摘発している。犯罪組織を摘発・解体する「テラ・デ・ソラタ」作戦を敢行した同日付アジェンシア・ブラジルが報じた。

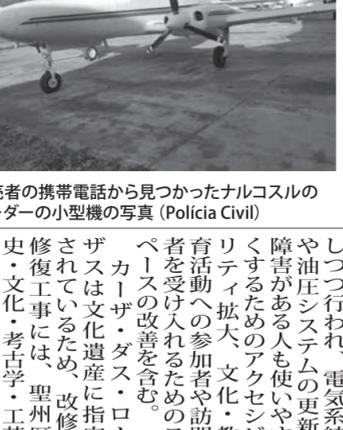
金の不法採掘が行われているのはパラ州南部



僅かな水を求めて群れをなすワニ達 (Marcelo Tchebes)



密売者の携帯電話から見つかったナルコスルのリーダーの小型機の写真 (Policia Civil)



建設時の建築様式残す外装部 (Andre Hoff/Casa das Rosas)



摘発された金の採掘現場 (Reprodução / PF)

Molho "BOM CURRY"
MARUITS
マルイチ食品のインスタントカレー

VENDA em BANCA

日本生活会話ガイド
Jeitinho no Japão
para os brasileiros
購入は ●太陽堂 ●フォノマダグ内商店
11-3208-6588 11-3104-3399
特別価格 **RS50**

ANO XXIV - Nº 5846

SÃO PAULO, SEXTA-FEIRA, 29 DE OUTUBRO DE 2021

RS 6,00

コロナ禍越えサービス向上図る

サンタクルス 日本病院感染対策

開院82周年式典にて病院名の改名を発表



4月29日の第82回創立記念日を機に改名した「サンタクルス日本病院」（佐藤マリオ理事長）。同病院でも新型コロナウイルスの影響を受けたが、コロナ患者と一般患者の動線を完全に分けることで、徹底した感染対策措置を行ってきた。一方、日本政府から約3億円におよぶ資金援助を受け、来年3月には病院内に「がんセンター」の開設を予定している。国内トップレベルの病院を目指すとともに、開院当初の日本移民のシンボルとしての思いを取り戻し、さらなる医療サービスの向上を図っていく考えだ。

一般患者と動線を完全区分
日本病院やJICAの支援受け

コロナ患者と一般患者の動線の分離
の病院の動向について、

日本政府支援事業 ◆サンパウロ日伯援護協会 ◆コロナ感染防止キャンペーン



辻病院長（左）と柳澤渉外広報部長（提供写真）

外広報部長の柳澤智洋氏と、昨年1月に病院長に就任した辻マルセロ氏に話を聞いた。

両氏によるとサンタクルス日本病院では、コロナ患者は一般患者との動線を完全に分けることで、徹底した感染対策に取り組みできたという。同病院内の併設2階部分にはコロナ患者専用の病棟とICU（集中治療室）があり、コロナ患者と一般患者が混在することなく、外部からの訪問も制限されている。また、これらの対策に加えて医療従事者への日常的な防護対策や、検査も実施。少しでもコロナ

コロナ感染対策



ドライブスルーでのPCR検査（提供写真）



コロナ患者専用のICUルーム（提供写真）

ロゴマークも新調

「サンタクルス日本病院」への改名と共に、病院のロゴマークも新調された。新ロゴマークは、バランスと調和、希望、健康、活力などを表わす深緑を基調とし、日本の家紋を想起させるものを考案。

日本とブラジル、病院と患者の絆を大切にしたいとの思いから、「水引」から着想を得て、日本人移住者が昔から、桜の花によく似たブラジル国花イペーの花を見て、故郷に想いを馳せたことになみ、桜の花びらの模様を描いている。



新ロゴマーク

同病院に所属する医師数は300人で、そのうち感染専門医は3人。職員数は1300人と多い。うち600人が看護士として勤務し、3交代24時間体制で対応している。コロナ患者専用の対応チームは2チームあり、体外式膜型人工肺（ECMO）も3台整備されている。

2020年3月のパンデミック以降、同病院で今年9月までの約1年半でコロナ患者およびコロナ感染疑いのある患者の対応数は2万9417人。うち、1431人がコロナ患者として入院した。患者の症状は咳や熱、呼吸がしにくいことなどがあり、軽症では鼻水が出るなど風邪に似た症状が特徴的。特に高齢者は倦怠感や息切れの症状が目立ったという。

一般患者が半減
同病院ではコロナ以前の2019年には、一般患者が月に6千人おり、うち1300人が手術を受けていた。それが、パネミック以降は新型コロナウイルスへの恐れか

ら、一般患者は2500〜3千人、手術者も600人とそれぞれ約半数に減少した。今年3月初旬頃にコロナの第2波のピークがあり、一日で救急外来に受け入れたコロナ疑いの患者は1300人を超えた。

パンデミック当初、前述のように一般患者が半減したことで病院の利益も減少。支出は変わらない中で、防護服などの医療必需品については業者が通常の10倍の値上げを付けるなど、病院運営は困難を極めたという。

各方面からの寄付協力
そうした中で、日本政府はJICAを通じて「がんセンター」開設を目的に約3億円の助成金を交付した。また、三井物産、JICA、宮城、国人基金からの資金協力により、手術室4室のコロナ患者対策用リフトーム（改築）が実現した。さらに、日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」により、在サンパウロ日本国総領事館を通じて4台の人工呼吸器も供与され、多くの患者の命を救うことができたという。

「がんセンター」は、JICAからの資金援助を受け、今年3月初旬には、同病院の医療分野の研究強化を目的に昨年発足したサンタクルス日本病院学術研究所（IPESC）と筑波大学病院が主催したコロナ関連のオンラインセミナーを開催。今年11月には、筑波大学主催による第2回筑波会議への参加も予定されており、今後も継続していく考えだ。

さらに、今年3月の佐藤理事長就任以降、各課の課長クラスやコーディネーターなどを集めたリーダーたちを集めたコミュニケーション能力を向上するトレーニングも並行して実施されたという。同トレーニングは日本「ほうろく（報告・連絡・相談）」の重要性を大切にするという。人材育成の大切さを重視してきた前理事長・石川

の患者の命を救うことができたのだ。そのほか、JICAからは防護服1500着、マスク1千枚も寄贈されている。

筑波大との意見交換
一方、学術交流をしている茨城県の筑波大学と、新型コロナウイルスに関する意見交換を実施した。昨年11月半ばと今年3月初旬には、同病院の医療分野の研究強化を目的に昨年発足したサンタクルス日本病院学術研究所（IPESC）と筑波大学病院が主催したコロナ関連のオンラインセミナーを開催。今年11月には、筑波大学主催による第2回筑波会議への参加も予定されており、今後も継続していく考えだ。

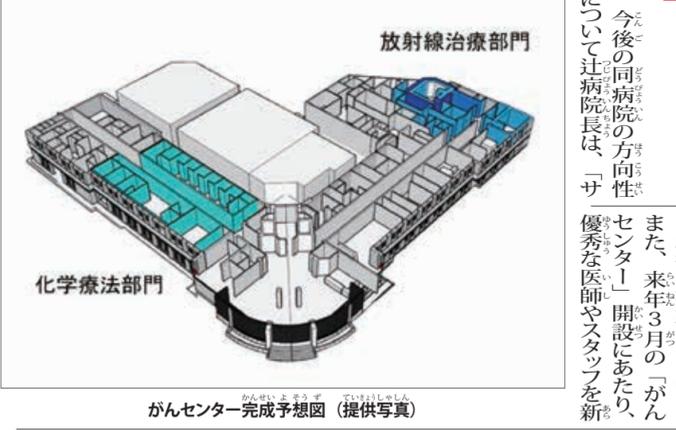
さらに、今年3月の佐藤理事長就任以降、各課の課長クラスやコーディネーターなどを集めたコミュニケーション能力を向上するトレーニングも並行して実施されたという。同トレーニングは日本「ほうろく（報告・連絡・相談）」の重要性を大切にするという。人材育成の大切さを重視してきた前理事長・石川

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

3つの密を避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り「ゼロ密」を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

厚生労働省 フリーダイヤル
112-565653



がんセンター完成予想図（提供写真）

本記事は、日本政府支援事業に基づき、サンパウロ日伯援護協会が実施している「コロナ感染防止キャンペーン」の一環です。